

ギルド名	ギルドマスター
グレート剣（仮）	アルフィン・クラウゼ

レベル	4	成長点	94	次レベル	34/40
-----	---	-----	----	------	-------

[illegible][illegible][illegible]

※ここではこれまでのセッションの概要を記載します。

▼セッション1[ポベートールの呼び声]

両親を殺した者を探し出し、復讐するために「何でも屋」として各地を転々としている、アルフィン・クラウドゼル、失脚した親友を探すために旅をしている、可愛い子好きなのナルスト、フラン・ルーク、シロビの家系だったが突然異世界転移してこの世界にやって来た不良まがいの日本人、ヤクシジ・ジン、有名な傭兵の生まれだったがある切っ掛けで衰退した家系の地位回復のため、名を挙げるべく旅立った、シュリー・アンジュ。4人は様々な事情で同じ神殿に集い、冒険者となった。神殿の意向からギルドを組む事になり、ギルド名を暫定的に【グレート剣】とした。

【グレート剣】の初依頼は悪夢に襲われる少女の母親からであった。  
少女メアはあるプレスレットをしてから毎晩のように悪夢を見続けており、目に見えて衰弱していったという。  
メアの母では必ず夢の最後に赤い屋根の聖堂に隠し部屋がある、という内容の夢を見るという。  
情報を元に、メアを連れて街の外れにある赤褐色の屋根をした廃聖堂に行き、  
メアが夢で見た通りに隠しスイッチを押すと確かに地下への階段が現れた。  
中には無数の白骨があり、その骨の大半はメアと同じプレスレットを身に着けていた。  
奥に進むとプレスレットと同じ紋章のついた箱があった。  
開けてみると煙が立ち込み、一行の意識はそこで途絶えたのであった。

目が覚めると見知らぬ牢だった。鍵はかかっておらず、持ち物にも異常はない。